

「統一修理報告書」で実施

計数機の誤差修理の結果を

日遊協は3月26日、遊技産業健全化推進機構の計数機検査における「修理報告書提出の具体的手順」について、会員に通知を発信した。

警察庁がすでに要請（警察庁丁保発第2号 1月16日）本誌2月号掲載）した計数機検査において、遊技場自動サービス機工業会は修理報告に齟齬をきたさないよう「統一修理報告書」を作成し、警察庁の了承を得て4月1日から実施した。

健全化推進機構も3月28日、ホール関連5団体に対して、報告書の運用について通知した。日遊協は会員に、その内容について周知徹底するように求めている。

ホール5団体代表者会議 消費税でWGを設置

会議は春・秋定期開催へ

ホール5団体代表者会議（全日遊連、日遊協、同友会、余暇進PCSA）が3月9日、東京・飯田橋のホテルメトロポリタンエドモンドで開かれ、当面の課題について意見を交換した。会議には原田實全日遊連理事長、深谷友尋日遊協会長、松田高志同友会代表理事、金海龍海余暇進副会長、加藤英則PCSA代表理事など5団体の代表者・幹部26人が出席した。

消費税アップの対応について、全日遊連側から5団体の実務者で構成するワー

キンググループ会議を早ければ4月中にも設置し、業界のコンセンサスづくりの検討を始めた旨の提案があり、了承された。風営法の改善要望事項を審議しているホール5団体風営法検討会ワーキンググループ会議での、解釈運用基準の検討状況が報告された。

ホール5団体代表者会議の今後の仕組みとして、春・秋の年2回定期的に開催すること、それは別に重要テーマが出てくれば随時開催することを確認した。

RSN第5回理事会

新理事に綾部征四郎氏

ばちんこ依存問題相談機関の리카バリサポート・ネットワーク（RSN）は3月29日、第5回理事会を開き、西村直之代表理事をはじめ理事9名、監事2名が出席し、議案の審議ならびに報告・協議を行った。

理事交代に関する第1号議案が提出され、吉松俊男日電協理事に代わって綾部征四郎日電協理事が就任することを承認した。

活動状況の報告のあと、▽新しい監事については9月の総会までに21世紀会で協議する、▽4月に

認定NPO法人の申請を行い2年間はみなし認定されるが、その間に認定条件の整備を行う必要がある対策を講じる、▽新たに作るポスターの要件——などが話し合われた。

リサイクル推進委員会

20業者対象に再実査

第57回遊技機リサイクル推進委員会（座長・篠原弘志日遊協専務理事）は3月29日、日工組会議室で開かれた。セキュリティ対策委員会が進められている機歴管理に関する審議状況が報告された。リサイクル推進委の審議内容とも関連して来るため、今後注意深く見守っていくことになった。

遊技機リサイクル選定業者数が、事業廃止で選定書を返納するなどして、同日現在41社になったことが報告された。また、2002年（平成14年）までに選定業者になった20業者を現在の選定基準で実査し直すため、当面、東京、愛知、大阪、兵庫、岡山、広島島の12業者を対象に、日遊協、日工組、日電協、全日遊連、全商協、回胴遊商の6団体が2団体ずつ組んで実査を分担することを確認した。

修理報告書提出の具体的手順

- 機構の検査の結果、修理要請書を受け取る際に、機構の検査員から「統一修理報告書」が併せて交付されます。
- 修理業者に依頼する際には、機構の検査の結果によるものである旨を付け加えてください。修理業者が来店した際には、機構から受け取った「統一修理報告書」を渡してください。
- 修理終了後、修理業者が確認テストを行ないますので、必ず店員が立会って正常稼働を確認の上、「統一修理報告書」下部の記載欄に立会った本人が署名・押印してください。
- 統一修理報告書は3枚複写となっており、それぞれ「警察署提出用」「ホール様控え」「メーカー持ち帰り用」となっており、上の2枚がホールに渡されます。
- 「統一修理報告書」の「警察署提出用」に、機構の修理要請書の写しを添えて、所轄の警察署に提出してください。
- 今回の要請では明示されておきませんが、機器自体の交換の場合は、「統一修理報告書」に記載事項がないので修理業者がそのまま回収することになり、警察署には、基本的には設備の変更届に修理要請書の写しを添付することになると思われます。